

「冠動脈バイパス術後の心臓 CT 検査における心電図同期撮影法と心電図非同期撮影法を組み合わせた撮影法の後ろ向き検討」に関する研究

1. 研究の対象

当院において 2014 年 1 月から 2022 年 9 月までに冠動脈バイパス術後の心臓 CT 検査を施行した患者さん。

2. 研究目的・方法

通常冠動脈バイパス術 (CABG) 後の心臓 CT 撮影には Step and Shoot 方式での心電図同期撮影法 (Wide Volume Scan : WVS) が用いられてきました。しかしこの撮影法は撮影範囲全てを心電図と同期させながら撮影をしていくため、CT 装置の原理上どうしても撮影時間が長くなってしまいます。撮影時間が長くなることにより息止め時間が長くなり、造影剤も増量しなければなりません。

そこで当院では撮影時間を短くするため、撮影範囲の半分は心電図と同期させた撮影でもう半分は心電図と同期させない非同期の撮影を組み合わせた撮影法 (Hybrid Volume Scan : HVS) を考案し撮影を行っています。本研究では HVS の有用性を検討します。HVS の有用性が証明されれば WVS よりも息止め時間の短縮及び造影剤量の減量ができるため患者さんにとって有益な撮影法であることが立証されます。本研究は既に撮影された電子カルテ内の画像データを用いて専用の画像閲覧パソコンにて解析を行います。

研究期間は、病院長許可日から 2023 年 12 月 31 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、CT 画像、撮像条件 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院

〒438-8550 静岡県磐田市大久保 512-3

Tel 0538-38-5000 (代表)

研究責任者：放射線診断技術科 八重樫拓